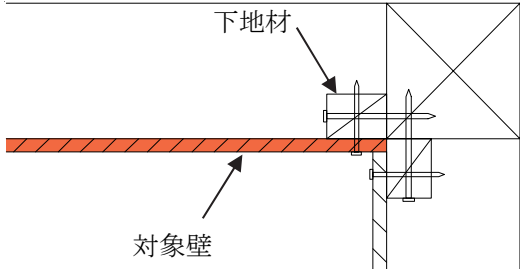
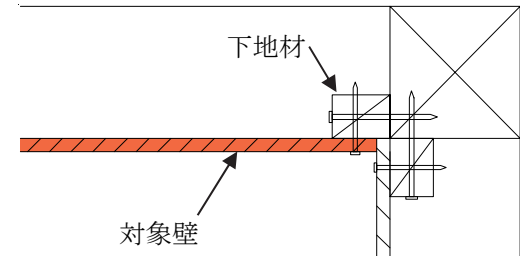
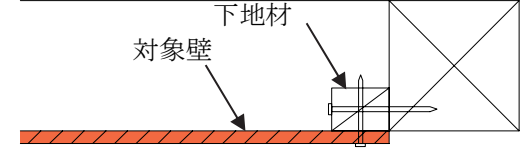
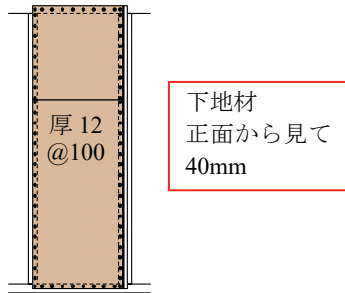


評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-213カ・マ・タ	
<b>評価技術名称</b> 構造用合板補強工法 大壁 入隅等 「勝ち・負け・単独」裏栈なし					<b>連絡先</b> <a href="https://www.aichi-gensai.jp">https://www.aichi-gensai.jp</a> 愛知建築地震災害軽減システム研究協議会 <b>実験実施機関</b> :名古屋工業大学				
概要	<b>技術概要</b> 建築基準法で壁倍率が指定されている大壁の構造用合板補強から、間柱・継手受材をなくし、12mm の構造用合板で入隅部等を補強する工法。 カ: 入隅部を対象壁勝ちとする仕様 マ: 入隅部を対象壁負けとする仕様 タ: 片側を受材仕様で単独壁とする仕様							<b>コスト</b> サンプル 構面	
	<b>技術の特徴</b> ・ 一般流通品なので取り扱いが容易 ・ ・							カ:29,955 円/kN	マ:34,982 円/kN
仕様	<b>適用範囲</b> 構法 木造在来軸組工法 規模 3階建て以下 基礎、地盤 特になし 適用部位 内外壁				<b>写真・図</b> 大壁 対象壁勝ち:カ				
	<b>耐震性能</b> 評価仕様:大壁直貼仕様								
			壁基準耐力	壁基準剛性					
	「対象壁勝ち」		5.2 kN/m	730kN/rad/m					
	「対象壁負け」		4.16 kN/m	584kN/rad/m					
	「単独壁」		4.16 kN/m	584kN/rad/m					
	A-111 からの低減係数 $\alpha$ 対象壁勝ち $\alpha = 1.0$ : 壁基準耐力 $5.2 \times 1.0 = 5.2$ 対象壁負け $\alpha = 0.8$ : 壁基準耐力 $5.2 \times 0.8 = 4.16$ 単独壁 $\alpha = 0.8$ : 壁基準耐力 $5.2 \times 0.8 = 4.16$				対象壁負け:マ 				
	<b>設計方法</b> ① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること ② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること				単独壁:タ 				
	<b>施工者指定</b> 特になし								
	<b>主要構成部材の仕様</b> 構造用合板 大壁、厚 12mm、縦使い 各高さ 400mm 以上 釘 N50、CN50、@100mm 以下 四周打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下								
	間柱		なし						
	継手受材		なし						
上下受材		なし							
四方受材		なし							
下地材		奥行 30×見付 40mm 柱に対して、釘 N75@150mm 以下 または N90 @200mm 以下							
アルミアングル		なし							
かさ上げ材		なし							